

活  
力  
あ  
ふ  
れ  
る  
交  
流  
拠  
点  
都  
市  
を  
目  
指  
し  
て

本市は、優れた個性を生かし、多様な都市機能の集積を図り、世界に開かれた人・物・情報の活発な交流拠点を形成する。また、未来を開く新しい技術や情報を活用し、多様な産業活動が活発に営まれ、国際社会の平和と繁栄にも貢献する都市を目指す。

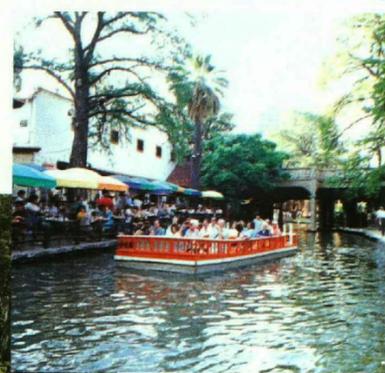
HUMAN CITY KUMAMOTO



ハイデルベルク市のカルル・テオドル橋

国際交流

HUMAN CITY KUMAMOTO



サンアントニオ市・リバーウォーク



桂林市象鼻山

開かれた交流拠点の形成

国際交流を重点施策のひとつとして掲げる本市は、友好姉妹都市である桂林市並びにサンアントニオ市、また永年友好関係にあるハイデルベルク市と、幅広い分野にわたり様々な交流事業を展開しています。また、国際化の進展に伴い増加する、在熊外国人や外国人観光客等のための、住みよい街づくりにも積極的に取り組んでいます。

さらに今後は、市民レベルでの国際交流を推進するために、国際交流振興事業団(仮称)の設立や国際交流会館(仮称)の建設等、より国際社会に即応した都市を目指します。

中国・桂林市

昭和54年10月に友好都市締結以来、活発な交流が続く中、平成3年には、袁鳳蘭・桂林市長を迎え、桂林市伝統工芸美術展を挙行、また本市からは、市民友好の翼や高校生の派遣等、両市民の相互理解をより深めました。

今後も、幅広い分野での交流事業を実施します。

米国・サンアントニオ市

昭和62年の姉妹都市締結以来、友好の輪が広がる中、平成3年には、少年野球親善訪問団や市民友好の翼の派遣、また、大学生の交換留学等が実施され、両市の絆を一層深めました。

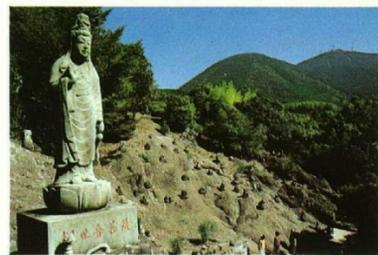
これからも引き続き、経済・学術・スポーツ等の多様な交流事業が予定されています。

独国・ハイデルベルク市

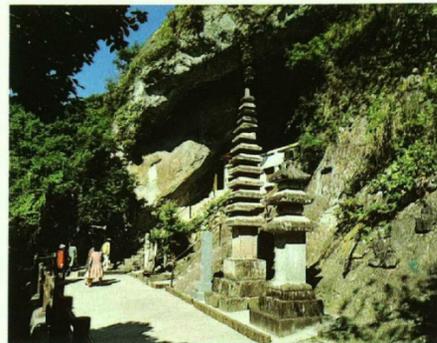
ハイデルベルク市と本市は、大学や古城、川等の類似点を持ち、20数年来、絶え間ない交流を続けてきました。平成4年度は、いよいよこれまでの交流の実績を礎に友好都市の締結を行い、学術・経済・文化等の相互交流を一層推進していくことにしています。



水前寺成趣園



五百羅漢



霊巖洞



立田自然公園「仰松軒」



本妙寺



小泉八雲旧居

## 観光・コンベンション

HUMAN CITY KUMAMOTO

九州の中央に位置する本市は、東に「阿蘇くじゅう」、西に「雲仙天草」の二大国立公園を望み、九州国際観光ルートの要衝として国際色豊かな魅力ある都市へと変貌しつつあり、「国際観光モデル地区」に指定されています。また九州の一大観光拠点として、年間570万人を超える観光客が訪れています。

### 豊かな観光資源

恵まれた自然と城下町としての歴史をもち、数多くの観光資源を有する本市には、日本三名城のひとつである熊本城をはじめ、清冽な地下水の湧く天下の名園「水前寺成趣園」、細川ガラシャの眠る「立田自然公園」、剣聖宮本武蔵が兵法五輪の書を著した「霊巖洞」（五百羅漢）、そして夏目漱石、小泉八雲、森鷗外、徳富蘇峰・蘆花など明治の文豪の文学遺蹟など歴史的、文学的観光資源が数多く残されています。また、釣耕園、叢桂園、百梅

園等歴史的文化的に貴重な史跡や庭園をはじめ、豊かな水や緑が残る島崎地区の新たな観光開発も進めています。

### 都市型観光への転換

観光意識や観光形態の変化に対して、本市では豊かな観光資源を生かしながら、利便性、快適性、さらには都市景観を含めた都市自体を観光の魅力とする都市型観光への転換を目指しています。熊本城を中心としたシンボルゾーンや長堀通りの整備をはじめ景観にあった電停表示塔や英文併記の案内板を設置しています。さらには熊本城内をきめこまかく案内するレディースガイドの導入等都市の魅力の向上とふれあいのある、心に残る観光地づくりを目指しています。

### コンベンションの振興

このような豊かな観光資源と都市型観光を活かして、内外の各種大会・会議の誘致や、参加者への心の通った受入れ体



熊本城

制の充実を図るため、平成3年11月財団法人熊本国際コンベンション協会を設立し、より一層のコンベンションの振興を促進しています。平成2年度は142件のコンベンションが開催され、コンベンションシティとしての地位も向上しつつあります。

### 金峰山・有明海沿岸観光開発基本計画調査

金峰山から有明海にかけての豊かで雄大な自然を貴重な観光資源として、育成活用を図り、今後の産業振興の一環として、また熊本市の新たな観光の核として、自然環境に配慮した、総合的な開発の基本計画調査を実施します。

具体的には、海洋資源の魅力を最大限にひきだし、有明海における海洋拠点とする海洋水族館や水産技術センター、また合併を記念した記念公園、さらには有明海を眺望したみかんの丘一帯の有効的利用を図るため、みかんを核とした総合

的な施設整備等です。

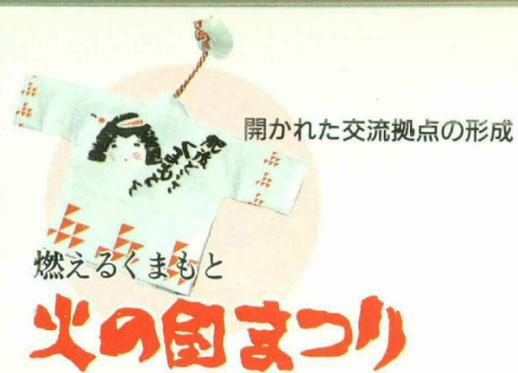
### 観光人づくり

観光関連産業に従事する経営者から第一線で活躍する社員まで各業界ごとに経営問題・部下育成・接客接客等について研修を実施し、受入れ体制や顧客意識のより一層の充実を推進しています。

また、市民のみなさんを対象に熊本の歴史、文化など故郷の素晴らしさを学ぶ「市民観光ガイド講座」を開催し、ボランティアで観光PRや案内を行う市民観光ガイドの養成を図っています。

### 国際観光の振興

外国人観光客の誘致及び受入れ体制の整備充実を図るため、海外での観光展への参加をはじめ海外の旅行雑誌への広告掲載、海外向けポスターや各種外国語パンフレットの制作、来熊外国人への観光案内所の設置等を実施し、世界に開かれた国際交流都市づくりを進めています。



燃えるぐまもと  
火の国まつり

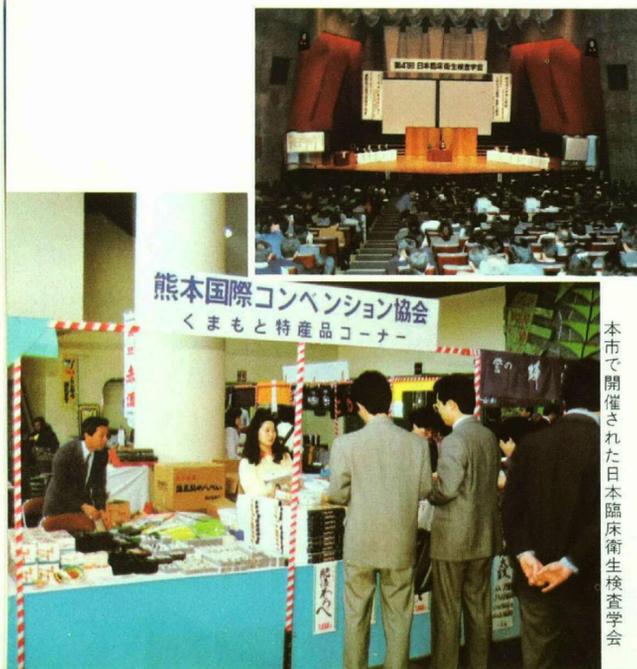
8月11日から13日の3日間、真夏のくまもとをひとときわ熱く燃えさせた「火の国まつり」は、街中を熱気と興奮の渦に包み込み、完全燃焼させます。

初日は、まつりのシンボル「希望の火」を未来をになう若人により採火され、開幕式会場へと引き継がれ、まつりの最終日まで燃え続けます。

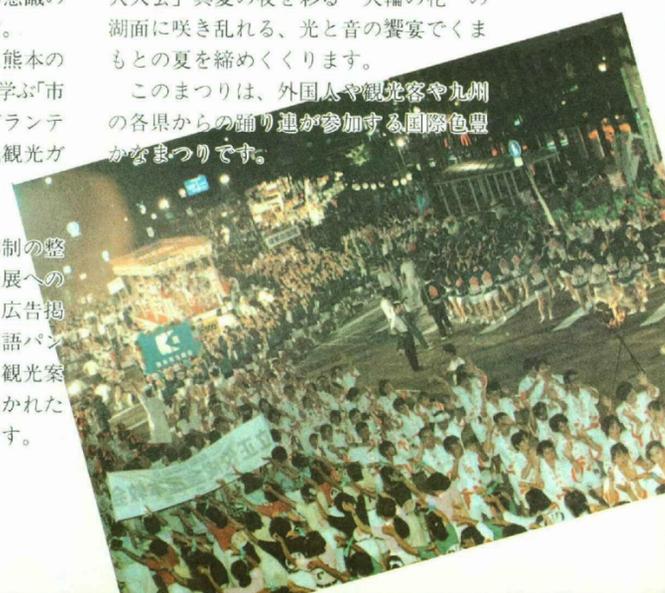
2日目は、「よかよか大行進」の出発から始まります。子ども達のアイデアいっぱいの手づくり「こどもみこし」華麗でダイナミックな演奏の「音楽パレード」かわいいちびっ子「こども総おどり」そして夜は、まつり最大のイベント「おてもやん総おどり」が市内の目抜き通りで繰り広げられます。おなじみのおてもやんのメロディーと激しいサンバのリズムが街中に響きわたり、真夏の夜の熱気を吹き飛ばします。

まつりのフィナーレは、下江津湖の「花火大会」真夏の夜を彩る「大輪の花」の湖面に咲き乱れる、光と音の饗宴でくまもとの夏を締めくくります。

このまつりは、外国人や観光客や九州の各県からの踊り連が参加する国際色豊かなまつりです。



本市で開催された日本臨床衛生検査学会





活力ある産業活動の展開

熊本流通団地

## 流通・情報拠点

HUMAN CITY KUMAMOTO

### 熊本流通団地

本市の卸売業、運輸業、倉庫業等の広域流通拠点施設として整備を進めていた流通団地は、平成3年度に97社が入居を終え全面稼働し、今後、本市の広域流通拠点として地域経済の活性化に大きな役割を果たすことが期待されています。また、団地内には流通情報の発信拠点となる熊本流通情報会館が平成元年4月にオープンし、セミナー、研修、経営相談等を通して、企業経営の近代化、合理化を支援しています。

さらに、昭和62年に設立された第3セクターである熊本流通情報センターの事業等により、広域流通ネットワークシ

ステムの構築や商店街POS等の普及を図り、中小企業の情報化を積極的に支援しています。

### 流通情報センター

近年のコンピュータを中心とした情報処理技術や、通信技術の進歩は目覚ましいものがあります。このような情報化の進展の中で、大都市圏と地方の情報格差の拡大が懸念されています。そこで熊本市では、通産省のニューメディア・コミュニティ構想のモデル地域として指定を受け、その推進母体として国・県・市・民間の出資による熊本流通情報センターを第三セクターで設立しました。

熊本流通情報センターのモデルテーマは「広域流通ネットワークシステム」の開発・構築です。現在、小売業と卸売業の間を結ぶ受発注オンラインシステム(EOS)や、上通り・下通り・新市街の3商店街を対象にした商店街POS等の情報処理サービスを中心に事業を展開しています。

### テレトピア

熊本市は、昭和60年に益城町と共に郵政省よりテレトピア構想のモデル地域の指定を受け、熊本情報案内システム(ローカルキャプテン)、熊本県健康管理システム、図書館情報ネットワークシステム、熊本市総合情報システムの5つのシステムを構築しました。さらに平成元年度には、ヒューマンコミュニティネットワークシステム(ケーブルテレビ)も新たに追加し、高度情報化社会に対応した地域情報化を推進しています。

特にローカルキャプテン、ケーブルテレビについては、その双方向性の特徴を生かした活用により、医療、福祉、防災、教育等、多分野にわたって市民生活の質的向上に貢献することが期待されています。

このように、21世紀にむけて全国的にニューメディアの普及、発達を図りながら地域経済社会の発展をめざすテレトピア構想の中で、その情報拠点都市として、ニューメディアを活用した活力あふれる街づくりをめざしています。

## 中小企業

HUMAN CITY KUMAMOTO

本市の中小企業は、全事業所の約99%、従業員数で80%以上を占めており、本市の地域経済の活性化を図るうえで、中小企業の振興は重要な課題であります。

しかしながら、近年の中小企業を取り巻く環境は、経済のソフト化・サービス化、情報化・国際化の進展、技術革新など、大きく変化しています。

このため、経営基盤の比較的弱い中小企業の経営力の強化、人材の育成、マーケティング機能の強化、さらには技術開発力の向上などの支援策が必要となっています。

そこで、本市では中小企業が自らの持

つ経営の柔軟性・創造性や機動性を発揮し、多様化する市場ニーズに的確に対応した企業活動が営めるよう、①経営力の強化、②産業基盤の整備、③資金調達の円滑化、④地場リーディング産業の振興、⑤人材の確保・育成、という5つの中小企業振興施策にそって各種事業を積極的に展開しています。



活力ある産業活動の展開

くまもと工芸会館



工芸会館での実演風景

中心商店街の振興

本市の上通・下通・新市街等の中心商店街は県内最大の広域商業拠点となっていますが、近年の消費者ニーズの高度化、多様化、ライフスタイルの変化、さらには大店法の改正等により、中心商店街に求められる機能も多様化してきました。そこで関係機関や地元商店街と連携をとりながら、アーケード等商店街共同施設整備の助成、あるいは駐車場・駐輪場の

整備や道路環境整備などの商業環境整備を推進し、魅力ある商店街づくりを積極的に推進しています。

地区・近隣型商店街の振興

地区・近隣型商店街は市民の日常生活に欠かせないものであり、地域コミュニティの核となる場でもあります。

また、地域特性を生かしたまちづくりという観点からも、地区・近隣型商店街

の果たすべき役割は非常に大きいといえます。

このような考え方から、現在、ホール、集会所、ギャラリー等の文化施設整備構想を策定し、商店街振興の拠点施設建設を目指しています。また、今後、商店街活性化のためのイベント開催補助等、ソフト事業に対する助成策も行う予定です。

シャワー通り



報・各種データベース情報の提供、経営相談・診断指導、経営セミナー等を実施しています。

また中小企業の共同化を推進するため、業界との共催事業、設備近代化及び組織化・高度化事業に対して支援をします。

2. 地場リーディング工業の振興

本市において集積が高く、他の産業との強い関連を持つ食品、出版・印刷産業を地場リーディング産業と位置づけ、その育成発展を図るため、業界別の組織活性化研究会や、業界活性化事業を実施しています。

また、中小工業の振興には、地元の方々に地場の優れた製品を愛用してもらうことが重要です。そこで、市民及び関係業界の方々に地場の製品を紹介し利用してもらうため、地場産業振興フェアの開催、物産振興事業などを実施しています。

3. 工業立地環境の整備・改善

活力ある生産空間の整備を目指して、周囲の環境と調和した製造・販売・遊が一体となった、アメニティの高い開放的な食品工業団地づくりを推進しています。

本市の工業は、その多くが中小企業であり、食品工業を中心に出版・印刷、金属製品、衣服、家具等、都市生活と関連の深い工業が大きなウェイトを占めています。

したがって、この中小企業の活躍が地域経済の活性化を図る上で重要な役割を担っています。

そこで、中小企業の振興を支援し、活力ある産業活動の展開を図るため次の施策を推進しています。

1. 経営力の強化

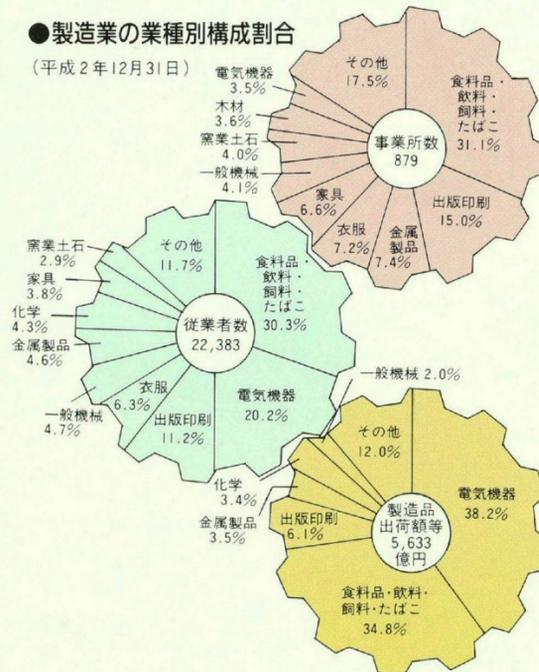
経営資源に限りのある中小工業を支援するため、地域のマーケティング情

工業

HUMAN CITY KUMAMOTO

● 製造業の業種別構成割合

(平成2年12月31日)



ロボット工場内部



なすの収穫

### 都市農業・水産業の振興

本市の農林水産業は、北西部の中山間樹園地帯、西・南部水田地帯、北・東部

の畑地帯からなり、野菜、米をはじめ果樹、花き、畜産などの豊富な基幹作目を有した農業と有明海沿岸におけるノリ、魚介類の海面漁業、更に錦鯉、ウナギ等の内水面漁業の水産業からなっています。

いずれも立地的優位性、地域性を活かした特色ある経営が行われ、飽託4町との合併後は、農・漁家数、農・漁業就業人口、農地面積は約2倍に拡大し、農・漁業粗生産額合わせると県下最大の生産地帯と飛躍しました。

しかしながら、農業は国際的な枠組みの中で市場開放要求など内外ともに厳しい環境におかれています。

また、水産業は気象、海況の影響を大きく受け、漁業者の減少、高齢化、価格の低迷などの問題を抱えています。

### 活力ある産業活動の展開



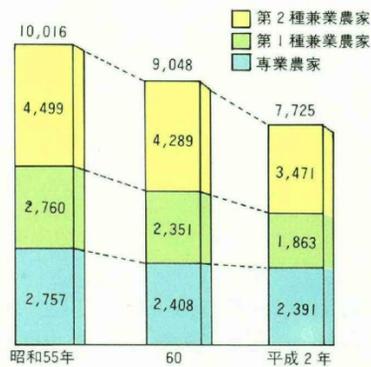
「のり」の採摘

このような中で、経営の自立安定と国際化社会に対応できる先進的な農・水産業としての高生産性農漁業、高付加価値農漁業の実現に向け、都市農業懇談会の設置、都市農業技術センター(仮称)建設構想、先端技術の導入、ハイテク農業の育成、農産加工の振興、漁港・漁場の整備充実、栽培漁業の推進など各種の施策を積極的に取り組み、新たな時代に応える魅力ある都市近郊農・水産業の振興を図っています。

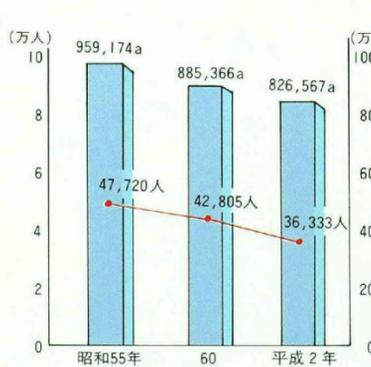
## 農林水産業

HUMAN CITY KUMAMOTO

●農家戸数の推移



●農家人口と経営耕地面積の推移



●農業生産額 (平成2年度)



●漁業生産額 (平成2年)



風格ある  
文化創造都市を  
目指して

本市は、先人が築いた優れた特色ある伝統・風土を市民の誇りとして大切に守り育み、風格ある歴史性豊かな都市を形成する。また、市民の豊かな創造力から多様で幅広い都市文化が生まれ、その新しい文化と伝統が調和した都市を目指す。

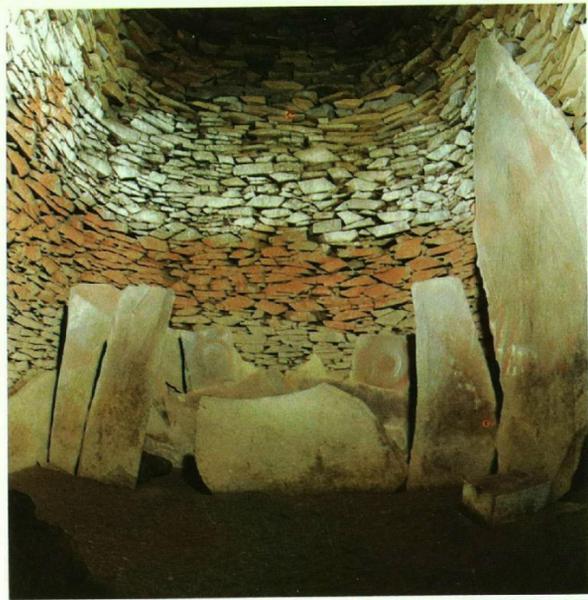
HUMAN CITY KUMAMOTO



つつじヶ丘横穴群



坪井川リバーウォーク完成予想図



釜尾古墳の内部

## 歴史文化

HUMAN CITY KUMAMOTO

### 史跡・文化財

本市には、国指定の重要文化財である熊本城や水前寺成趣園、千金甲古墳をはじめ国・県・市の指定文化財が合計156件あります。

この中には、平成3年2月の合併により熊本市になった旧北部町の「釜尾古墳」「寂心さんの樟」「明徳官軍墓地」も含まれています。

文化財は、先人からの貴重な贈り物であり、市民共有の大切な財産ですが、同時に都市の個性を発揮するうえで非常に大きな求心力を持ち、役割を担っています。

本市では、歴史都市の継承を現代に

生きる私達の責務として捉え、文化財の保護管理に努めていますが、さらに積極的に活用していこうと平成元年度から熊本城三の丸地区を史料公園として整備しています。

中心になる建物として、東子飼町にあった県指定重要文化財の武家屋敷「旧細川刑部邸」の三の丸への移築復原に取り組み、平成3年度末までに「長屋門」の工事を完了しました。

平成5年秋には庭園を含め一般公開される予定です。

又、郷土の先哲の顕彰として、昭和44年に日本のジャーナリストの草分け的存在の徳富蘇峰や、その弟で文豪蘆花の旧邸や記念館を開館したのははじめ、幕末から維新にかけて日本の進むべき道を見事に指し示した横井小楠、熊本の近代化に大きな役割を果たした熊本洋学校教師のジェーンズ、そして、熊本ゆかりの文豪夏目漱石や小泉八雲という、熊本近代の黎明期にそれぞれの分野から熊本の精神風土に大きな影響を与えた人物の旧居保存や記念館を開館するなど市民の文化

## 歴史都市の継承

### ●指定文化財

平成4年3月31日現在

	有形文化財		無形文化財	無形民俗文化財	記念物			計
	建造物	美術工芸品			史跡	史跡名勝	天然記念物	
国指定	3	9	0	0	4	1	5	22
県指定	11	53	3	1	6	2	1	77
市指定	18	11	0	3	22	0	3	57
計	105		3	4	44			156

美術工芸品……彫刻・工芸品・書跡・絵画・考古他

向上に努めています。

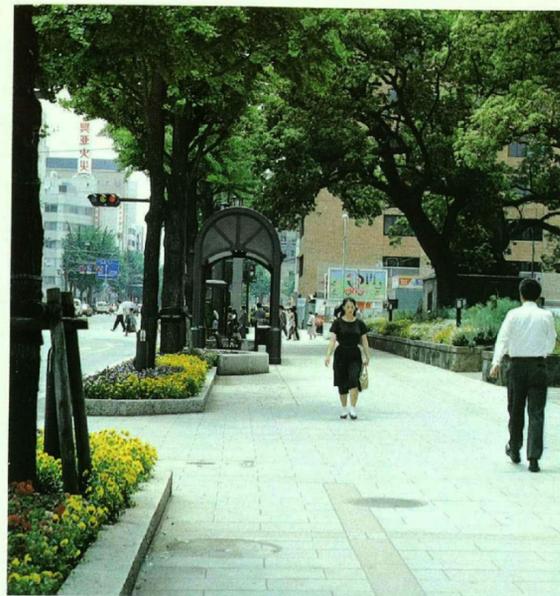
さらに、旧北部町の「御馬下の角小屋」も参勤交代の記念館として一般に公開されており、平成4年度には豊前街道などを中心とした資料館も整備される予定です。

### 坪井川リバーウォーク整備

平成元年、市制施行100周年事業として坪井川総合環境整備事業を発足させました。

坪井川は都心部を貫流し、かつては有明海から熊本城下に至る「舟運の水路」として、また近年は「錦鯉の泳ぐふるさとの川」として、市民に親しまれています。

この事業は、坪井川の坪井橋から春日橋までの約3.3kmの区間を遊歩道（リバーウォーク）として整備するもので、川を持つ特性と自然及び地域の個性を十分に生かした水辺空間を創造し、市民の生活環境を向上させるとともに、潜在する歴史的文化遺産を発掘、保存し、観光資源としても活用するなど、21世紀に向けた新しい「熊本の顔」としての活力ある街づくりを推進するものです。



シンボルロード

## 都市景観

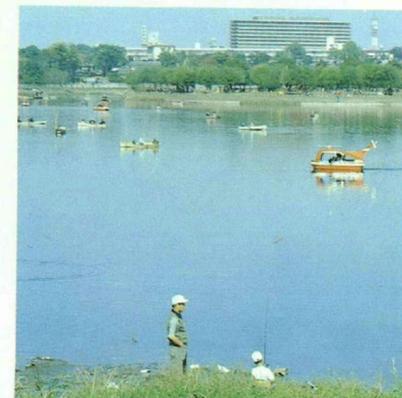
HUMAN CITY KUMAMOTO

市街地にそびえる熊本城



都市景観は視覚的に都市を印象づける大きな要素であり、その都市の歴史、風土、文化の表われといえます。

本市では「誰もが住みたい」、「訪れてみたい」と思えるような都市づくりに計画的に取り組むため、昭和63年3月に



江津湖

## 歴史都市の継承

「熊本市都市景観基本計画」を策定しました。

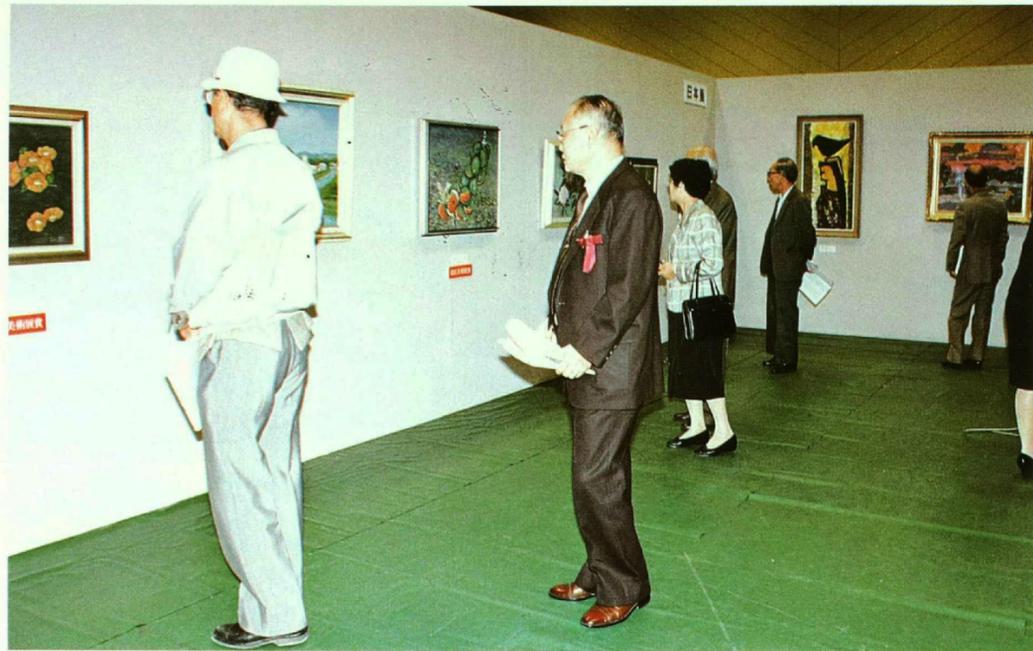
この基本計画の具体化の第1歩として花畑公園前のシンボルロード事業をはじめ、熊本城周辺の歩道や橋などの景観整備を行っています。今後も、本市の歴史や文化、地域の特性を生かした景観整備を積極的に進めることにしています。

また、市民や事業者の皆さんの広範な参加協力を得て、総合的に都市景観の形成を進めるため、平成元年10月には「熊本市都市景観条例」を制定しました。

この条例は、市民、事業者、行政の三者がそれぞれの責務に基づいて創意を発揮すること、景観形成のための地区指定等の諸制度を活用すること、市民のまちづくり活動を推進することを大きな柱としています。

その中で、平成3年4月からは「大規模建築物等」の届出制度の運用を始めています。

街は私たちが快適に文化的に生活する場であり、子孫へ伝える貴重な資産でもあります。このために、基本計画や条例の趣旨をいかに多く理解して、熊本らしい魅力ある都市景観を市民と行政の共同作業の中で積極的につくりあげていくことにしています。



都市文化拠点の形成

市民美術展

## 市民文化

HUMAN CITY KUMAMOTO

本市では、高まる芸術文化への要望に応えようと、市民一人ひとりが気軽に芸術文化に親しむことができるよう身近な活動の場や拠点の施設の整備に努めています。

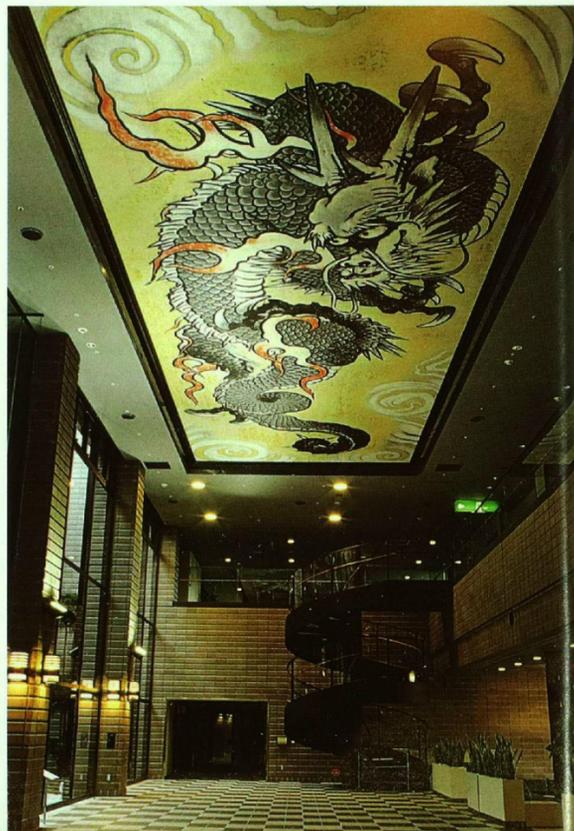
市民会館、産業文化会館、市立図書館、博物館等の既設の文化施設に加えて、平成2年4月に熊本市総合婦人会館のオープン、さらに、平成3年6月には旧天明町にコミュニティセンターを開設しました。

なかでも総合婦人会館は、メインホール、多目的ホール等の発表の場と、情報資料室、消費者センター等の学習の場を併せもつ総合施設で、まさに、都市文化の一大拠点となっています。

このような施設の充実、市民の芸術文化への鑑賞の機会を飛躍的に増大させ、ひいては自らの創作あるいは発表意欲を掻きたてる大きな要因にもなっています。

そこで、平成元年度からは市民自らの創作活動を奨励し、さらに、発表の場を提供することを目的とした「熊本市市民美術展」を開催しており、応募者は平成3年度までに延べ1,096人を数える程となりました。

又、施設の整備や文化的行事に加えて、近年の「文化は環境が育む」との視点から、歴史的建造物や街並みの景観を保全するなど環境的条件整備にも力を注いでいます。



総合体育館・青年会館の内部

## 学術・研究

本市は、九州の中核管理都市として、古くから学術研究の盛んな地であり、現在高等教育機関として、大学が6校、短大が4校、が集積しています。

このような中で、学術研究の成果、特に先端技術分野での研究成果を地域の産業経済の発展に生かすため、産・学・官の交流に力を注いでいます。具体的には熊本科学振興クラブ、熊本知能システム技術研究会、バイオテクノロジー研究推進会等の交流活動を積極的に支援してい

## 知的生産

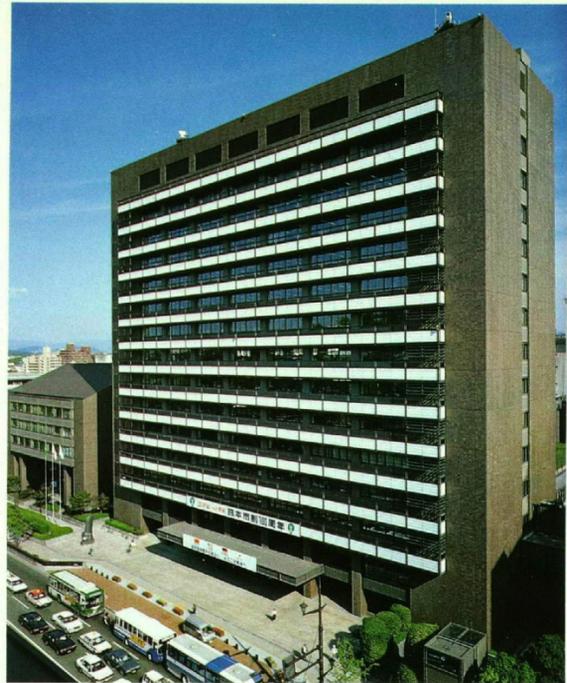
HUMAN CITY KUMAMOTO

ます。  
また、学術研究水準向上のため、今後も地元で開催される学会の誘致など積極的に進んでいきたいと考えています。



都市文化拠点の形成

大学におけるバイオテクノロジーの研究



●歴代市長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉村大八	明治22. 5. 6	明治26. 7. 9
2	松崎為己	" 26. 9. 15	" 30. 8. 2
3	辛島格	" 30. 9. 13	大正 2. 1. 20
4	山田珠一	大正 2. 4. 2	" 3. 10. 10
5	依田昌兮	" 4. 1. 14	" 6. 9. 3
6	佐藤藤守	" 6. 11. 20	" 10. 11. 19
7	高橋守己	" 11. 1. 19	" 14. 7. 13
8	辛島知己	" 14. 9. 14	昭和 4. 7. 4
9	山田珠一	昭和 5. 2. 5	" 9. 4. 17
10	山隈康起	" 9. 5. 14	" 17. 5. 13
11	平野龍	" 17. 6. 25	" 20. 8. 10
12	石坂繁	" 20. 10. 4	" 21. 3. 11
13・14	福田虎亀	" 21. 6. 14	" 23. 2. 9
15	佐藤真佐男	" 23. 4. 7	" 27. 3. 7
16	林正治	" 27. 3. 20	" 31. 2. 23
17・18	坂口主税	" 31. 3. 16	" 38. 1. 4
19・20	石坂繁	" 38. 2. 15	" 45. 11. 26
21~24	星子敏雄	" 45. 12. 20	" 61. 12. 6
現市長	田尻靖幹	" 61. 12. 7	在任中

行政

HUMAN CITY KUMAMOTO

左から御厨一熊助役、田尻靖幹市長、吉田紀生助役、中村順行収入役



熊本市行政機構図

(平成4年3月15日現在)

